

(様式1)

## 平成23年度試験研究課題設定のための要試験研究問題提案・回答書

(整理番号) 020	提案機関名 農業技術センター横浜川崎地区事務所
<b>要望問題名</b> 花き観賞樹における県育成品種の枝物利用について	
<b>要望問題の内容</b> 【 背景、内容、対象地域及び規模（面積、数量等） 】 枝物生産者では、特色のある新品目の検索について要望が高まっている。各生産者も独自に導入に向けた努力を行っているが、枝物生産の場合、出荷時の水揚げや切り前など品目ごとに異なっており、導入が困難となっている。 そこで、県育成品種として発表されているものを中心として、出荷時の管理について試験を行い。商品化することで、育成品種の有効活用を図る必要がある。 対象地域：横浜市及び川崎市 20戸	
<b>解決希望年限</b>	①1年以内 <input checked="" type="checkbox"/> ②2～3年以内    ③4～5年以内    ④5～10年以内
<b>対応を希望する研究機関名</b>	<input checked="" type="checkbox"/> ①農業技術センター    ②畜産技術所    ③水産技術センター ④自然環境保全センター
<b>備考</b>	

<b>回答機関名</b>	農業技術センター	<b>担当部所</b>	果樹花き研究部
<b>対応区分</b>	<input checked="" type="checkbox"/> ①実施    ②実施中    ③継続検討    ④実施済    ⑤調査指導対応    ⑥現地対応    ⑦実施不可		
<b>試験研究課題名</b> (①、②、④の場合) 直売等に適した花き・観賞樹の安定生産技術の開発 当所育成品種の枝物利用の検討			
<b>対応の内容等</b> 当所育成品種の花ナモモ 照手シリーズ及びサルスベリ ディアシリーズの枝物利用について現行課題の中で検討します。照手シリーズは既存品種に比べ枝が広がらず八重咲きであるため、樹形及び花形に新規性があり枝物としての利用が期待できますので、枝の切り取り適期、促成適温や促成期間等について検討します。また、ディアシリーズについては、サルスベリの枝物利用は例を見ないことから、採花時期、花保ち剤の利用等について試験を行い、枝物利用の可能性を検討します。			
<b>解決予定年限</b>	①1年以内 <input checked="" type="checkbox"/> ②2～3年以内    ③4～5年以内    ④5～10年以内		
<b>備考</b>			